

## 部落差別のない社会の実現に向けて

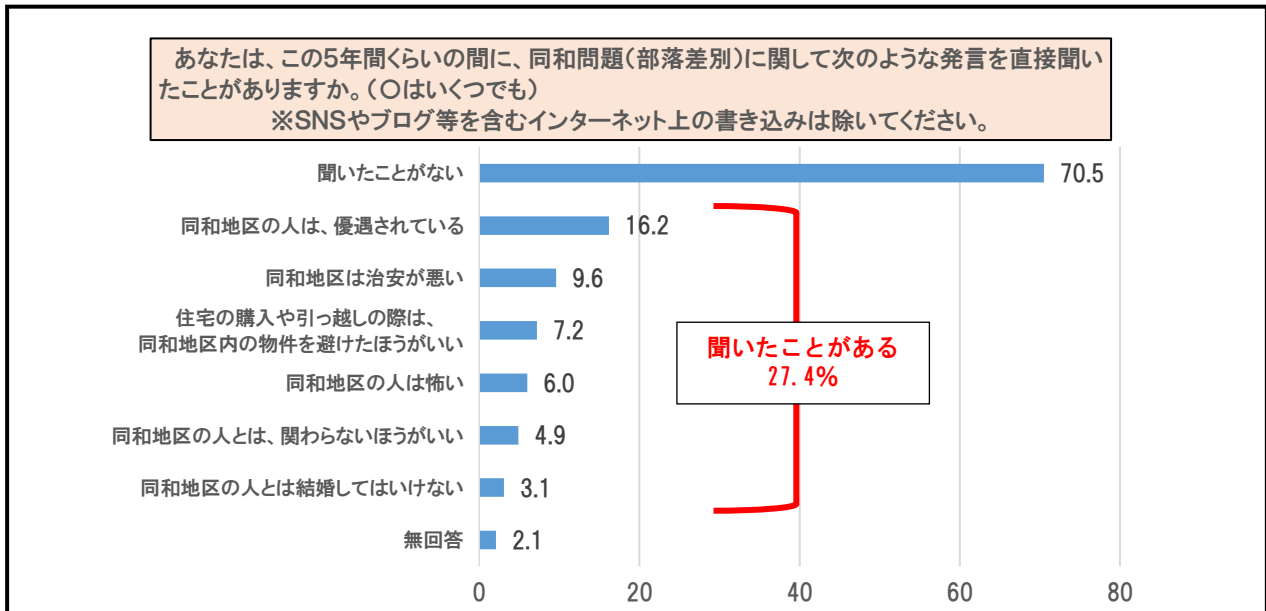
☆11月は「同和運動推進月間」

☆11月11日～12月10日は「人権を考える強調月間」

### 同和問題の現状

同和問題は多くの人々の努力によって解決に向かっているものの、今なお、**同和地区やその関係者に対する偏見から**、個人を誹謗中傷する発言をしたり、結婚や不動産取引の際に同和地区について問い合わせたりするなどの差別事件が発生しています。

また、令和4年に県が実施した「同和問題（部落差別）に関する県民意識調査」の結果において、この5年間くらいの間、以下のような発言を聞いたことがあるという人は3割弱いました。



出典：同和問題（部落差別）に関する県民意識調査

### チェック 同和問題に関する誤解や偏見をなくしましょう!

#### Q. 同和問題は自分とは関係がないので、知らなくても別に困らないのでは？

A. 正しい知識がないと、自分が直接かかわることになった場合に正しい行動をとれないばかりか、差別意識を持つ恐れもあります。同和問題は私たち一人ひとりの問題です。自分自身の問題としてとらえ正しい知識を身につけるようにしましょう。

#### Q. そっとしておけば、自然に差別はなくなっていくのでは？

A. そっとしておけば差別はなくなるという考え方は、差別を受けた人に黙って耐えろと我慢を強いていることと同じで、差別の解消にはつながりません。同和問題を正しく学び、差別は許さないという立場に立って行動しましょう。

